



今治海事都市発展ビジョン

概要版

2025年4月 今治市産業部産業政策局海事都市今治推進課

目次：今治海事都市発展ビジョン

エグゼクティブサマリ

今治発展の歴史とDNA

今治市の過去・現在・未来の姿

しごと・ひと・まちが躍動する国際海事都市“IMABARI”

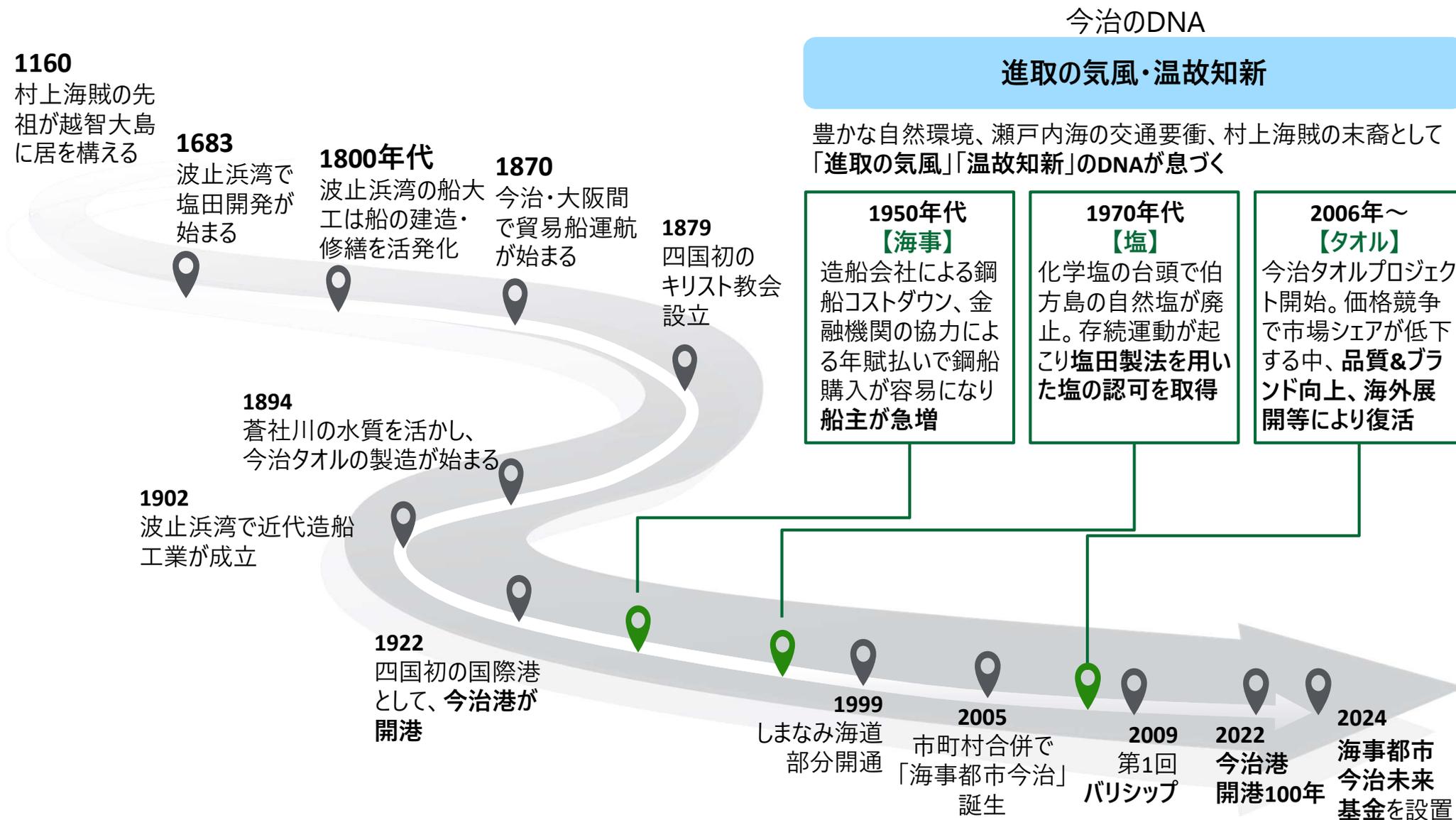
取組の方向性

ロードマップ

エグゼクティブサマリ

今治の歴史には「進取の気風」「温故知新」のDNAが存在。他地域では衰退した産業を新たに温めることで現在の代表的産業（海事/塩/タオル）を確立してきた

今治発展の歴史とDNA



今治発展の歴史も踏まえ、産業・個人・社会の観点から、旧ビジョン策定当時の状況を起点として、今後20年間に想定される変化も織り込み、未来のありたい姿を導出しました

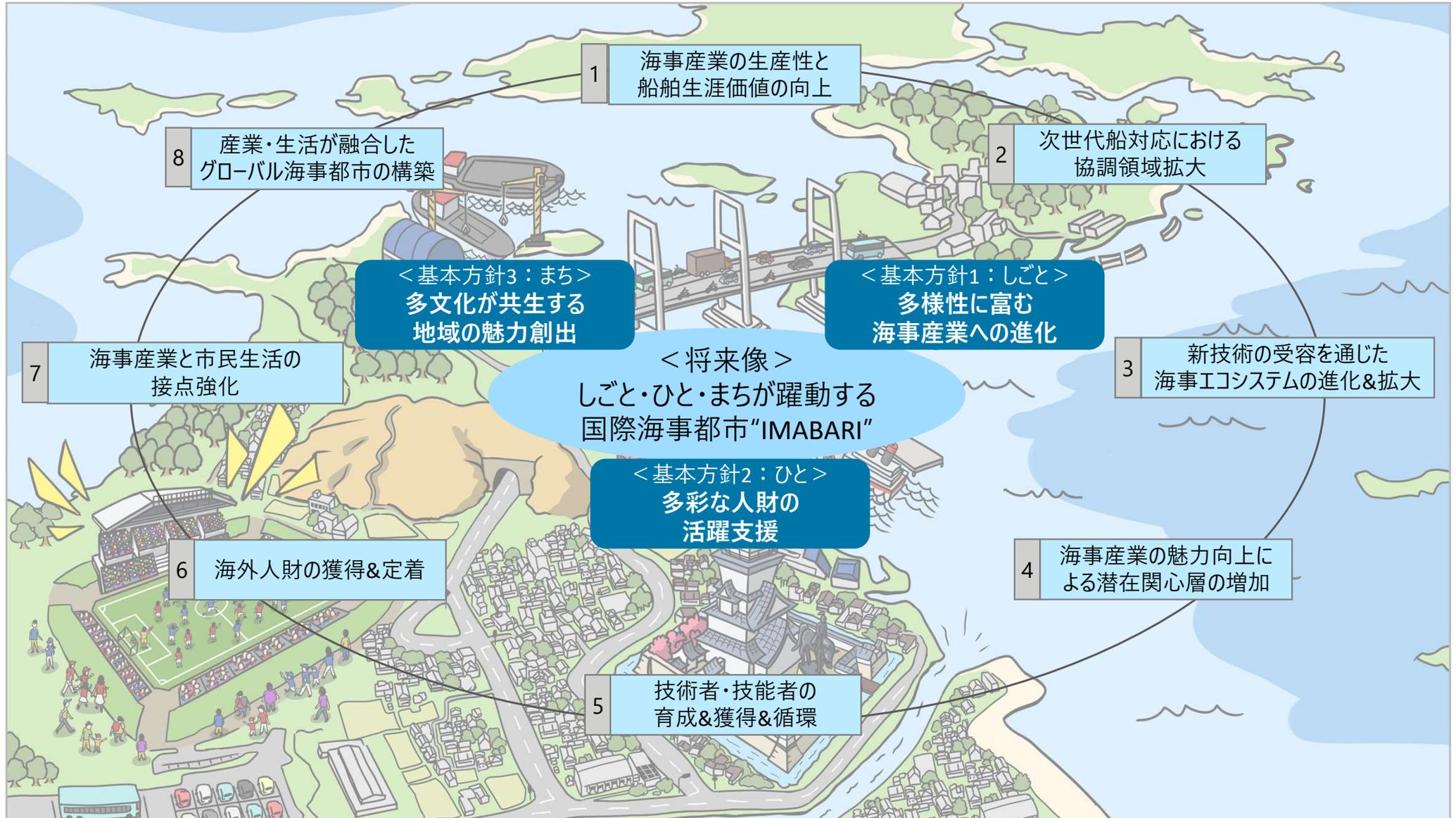
今治市の過去・現在・未来の姿

今治市のポジション

	産業（しごと）	個人（ひと）	社会（まち）
（20年前） 過去	国内1海事都市（市町村合併で「海事都市・今治」が誕生）		
	<ul style="list-style-type: none"> 既存船建造・保有・運航の国内主要拠点 市町村合併に伴い、海事バリューチェーンが網羅された 船主・海運・造船・船用を中心とした安定産業 	<ul style="list-style-type: none"> 海事産業の魅力が不十分/伝わらず、働き手が来にくい 技能者育成の組織や仕組みが誕生 海外人財は少数 	<ul style="list-style-type: none"> 市民における海の魅力認知は希薄 市町村合併に伴い、海事都市今治が誕生
（強み・弱み） 現在	国内トップ海事都市（国内建造船2割を市内造船所が建造。国際的認知度も獲得）		
	<ul style="list-style-type: none"> 既存船建造・保有・運航の国内トップ拠点 海事バリューチェーンが確立されている点が強みであり、協調の機運も高まり 船主・海運・造船・船用を中心とした安定産業 	<ul style="list-style-type: none"> 海事産業の魅力が不十分/伝わらず、働き手が来にくい 男性/若手対象の技能者育成が中心 海外人財を海事産業における一時的な労働力として活用 	<ul style="list-style-type: none"> 市民における海の魅力認知、海事都市としての誇りは希薄 国内トップクラスの海事都市として認知
（ありたい姿） 未来	しごと・ひと・まちが躍動する国際海事都市“IMABARI”		
	<p>国際的で多様性に富む海事産業</p> <ul style="list-style-type: none"> 建造・所有・運航が相互連携・深化したグローバル海事拠点 次世代技術対応のためのバリューチェーン上の協調領域を拡大 新プレイヤーが参加し、活力に溢れ、稼げる産業への転換 	<p>多彩な人財が集い・育ち・働く</p> <ul style="list-style-type: none"> 海事産業の魅力が向上/伝わり、働き手が増加 次世代船に対応できる高度技術者・技能者の育成&獲得 海外人財を、コミュニティの一員として受け入れ 	<p>多文化が共生する魅力ある地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 海/海事都市の魅力向上で、市民が誇りを感じ、まち全体で魅力発信 国際海事都市としてのプレゼンスを発揮

将来像として「しごと・ひと・まちが躍動する国際海事都市“IMABARI”」を掲げ、実現のためにしごと・ひと・まちという3つの基本方針とし、8つの取組の方向性を示します

しごと・ひと・まちが躍動する国際海事都市“IMABARI”



取組の方向性に沿った施策イメージをそれぞれ整理。これからより具体的な施策を検討していくことで、血の通った取組として海事都市今治の魅力を高めていくことを目指す

取組の方向性 (1/2)

		取組のねらい・概要	主な施策イメージ
1	しごと 海事産業の生産性と船舶生涯価値の向上	船のライフサイクルバリュー最大化につながる取組を需要側・供給側・支援側が行い、建造量・船腹量の増加を狙いつつ、延長線上で海事産業の魅力向上（活力があり、働きやすく、稼げる産業）に繋げる	<ul style="list-style-type: none">■ 生産性向上のための先進技術導入支援■ 船の生涯価値に繋がる支援
2	しごと 次世代船対応における協調領域拡大	次世代船に関して、ひと・インフラ・サービスの観点から協調領域を特定し、企業間連携で解消。日本としての経済安全保障にも貢献	<ul style="list-style-type: none">■ 技術交流・実証のための環境・インフラ整備■ 新技術導入に向けた支援サービス
3	しごと 新技術の受容を通じた海事エコシステムの進化&拡大	技術実装の迅速化や技術レベル向上を実現するため、スタートアップ・他産業・海外から新技術・知見を取り込みつつ、多様性に富む海事エコシステムへ進化。今治市を含む瀬戸内広域連携で、海事エコシステムを拡大	<ul style="list-style-type: none">■ 他産業・海外プレイヤーとの連携促進■ スタートアップの参入・育成支援
4	ひと 海事産業の魅力向上による潜在関心層の増加	今治市における海事産業の魅力訴求&デジタル・AIを組み合わせたプログラム実施&必要な海事関連スキルの可視化によるキャリアアップルートの具体化を通じて、人財の流入促進を図る（小中高大+社会人+外国人）	<ul style="list-style-type: none">■ 海事産業の魅力を訴求するコンテンツ整備■ 海事キャリアの魅力訴求

取組の方向性に沿った施策イメージをそれぞれ整理。これからより具体的な施策を検討していくことで、血の通った取組として海事都市今治の魅力を高めていくことを目指す

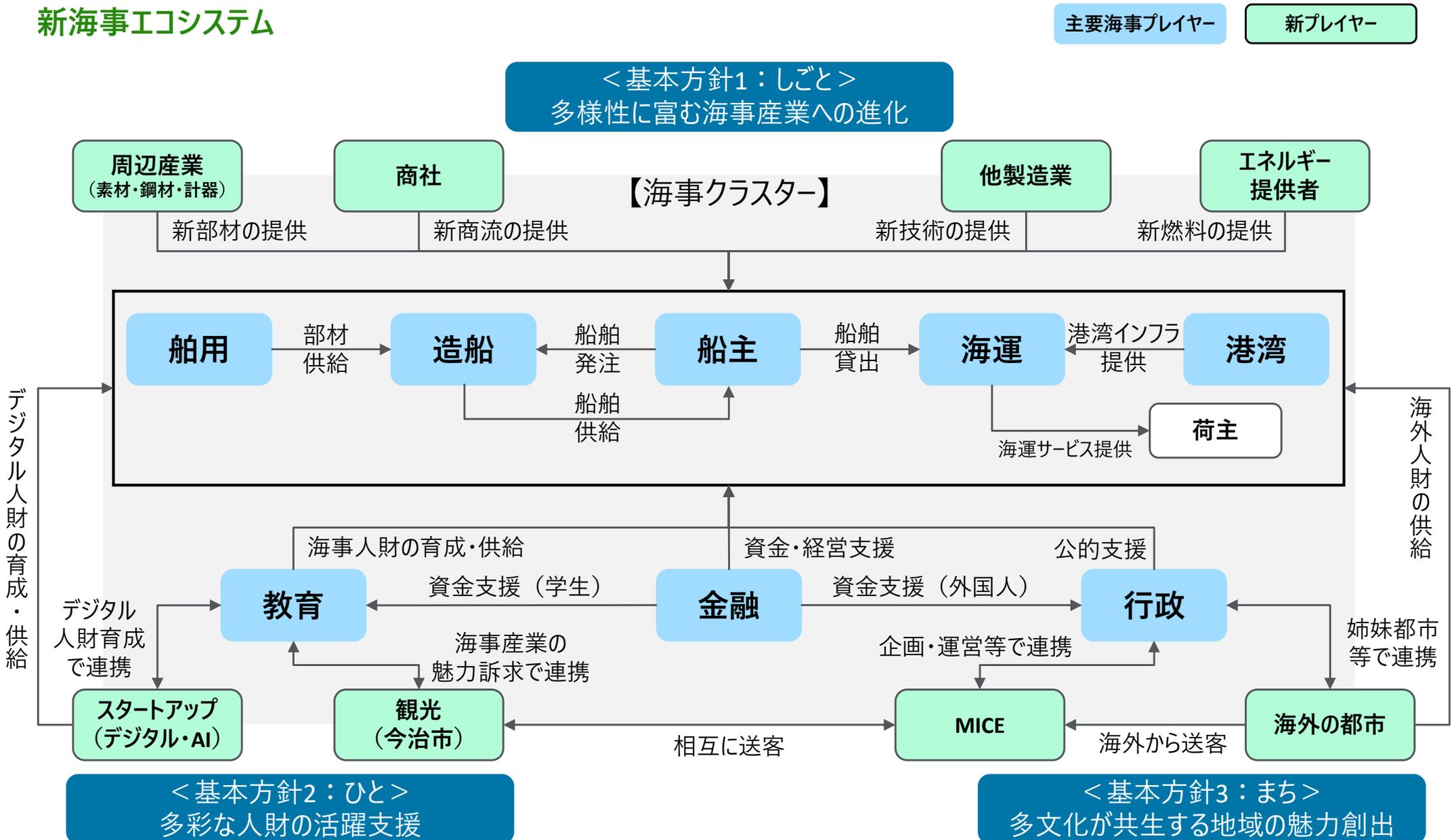
取組の方向性 (2/2)

		取組のねらい・概要	主な施策イメージ
5	ひと	技術者・技能者の育成&獲得&循環	<ul style="list-style-type: none"> ■ 専門教育機関の拡充 ■ 瀬戸内人財循環に向けた広域連携体制構築
	ひと		
6	ひと	海外人財の獲得&定着	<ul style="list-style-type: none"> ■ 海外人財の受入・定着支援 ■ 海外人財が暮らしやすい街づくり
	ひと		
7	まち	海事産業と市民生活の接点強化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 海を身近に感じる体験コンテンツの整備 ■ 海&海事へのシビックプライド醸成
	まち		
8	まち	産業・生活が融合したグローバル海事都市の構築	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国際海事都市を体現するインフラの整備 ■ 国際シティプロモーションの促進
	まち		

ロードマップ

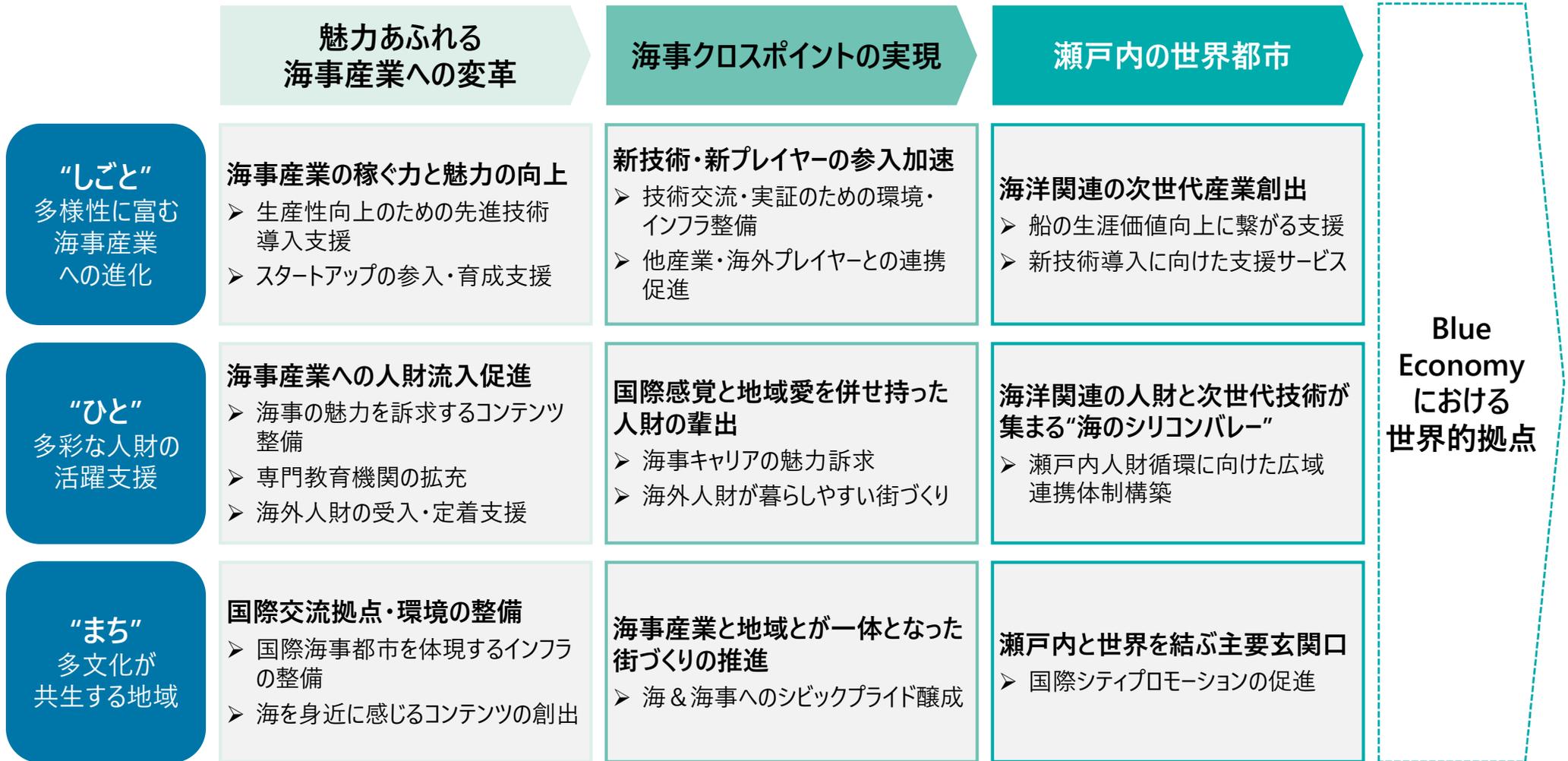
主要海事プレイヤーで構成される海事クラスターをベースとしつつ、他産業・スタートアップ・海外プレイヤーなどで新海事エコシステムを形成し、3つの基本方針に取り組みます

新海事エコシステム



海事産業の魅力向上、街と海事の共生の段階的なステップアップを経て、海事産業と地域や市民生活が密着した“瀬戸内の世界都市”への進化を目指す

取り組みロードマップ



End of File